

## 事後評価報告書

令和4年2月15日(火)

研究種別	県単(一般分)	
研究課題名	県産アユ種苗の有効活用に関する研究	
研究期間	平成29年度 ~ 令和3年度	
	評価項目	評価点
1	研究目標の達成度	3.7
[評価所見]		
<p>アユの種苗生産に関わる3つの要素(ミズワタクチビルケイソウ、水カビ対策、低水温飼育)について、綿密な計画をもとに実験・研究を行っており、種苗性の向上に資する具体的な知見を得ることができている。</p> <p>特に、ミズワタクチビルケイソウについては他県に先駆けて生態影響のデータを蓄積している点で県内外への波及効果が期待され、さらに水カビ対策や低水温飼育では飼育環境の最適条件が明らかにされている。</p> <p>いずれも生産現場での実用性が高い成果であり、目標通りの達成度を上げていると判断できる。さらに本課題研究を継続することで、アユの生産向上に繋がる新たな知見やノウハウの蓄積に努めていただきたい。</p>		